

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 23 No 5

262号

平成27年 5月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

どうして小児科単科なの？

院長

皆さんは、小児科と内科小児科の違いを考えたことがありますか。確かに内科・小児科は、大人も子どもも診てくれるので便利かもしれません。それでは、何故クリニックは小児科単科なのでしょう。

開業医の先生では、いくつもの診療科を標榜しているところもあります。標榜というのは、案内や看板に書いてある診療科の名前です。多いところでは、内科・外科・小児科・皮膚科・整形外科なんてこともあります。一見、何でも診てくれるようで便利ですよ。でも、ちょっと考えてみましょう。総合病院に行ったら、全部違う科で、別な先生の診察になりますよね。眼科に行って、耳の病気の診察は受けません。眼科・耳鼻科という標榜をしているところは、専門医が二人いない限り存在はしないようです。と考えると、疑問が湧いてきませんか。もちろん素晴らしい能力を持っていて、一人で全部診れる人がいるのかもしれませんが、つまりほとんどの医師は専門性を持ち、専門性をもとに患者さんに対する責任を果たしながら医療にかかわっているのです。お断りしておきますが、標榜科が多いことがいけないという訳ではありません。医療機関が少ない地域では、やむを得ないことがあるでしょう。このような医療過疎地域での対応のために、厚生労働省では総合医という専門医を設定して、どの科でも診れるような研修体制を取ろうとしています。

乳児健診が小児科単科でしかできないことに、疑問を持たれたことはありませんか。これは至極簡単な理由です。例えば、妊婦さんの健診を内科医が担当しないということと同じです。健診には非常に重要な役割があります。健診は健康な子どもを扱っているから専門的な立場からの異常の発見と適切なアドバイスが必要です。内科・小児科の先生の多くは、内科を専門にしてきたのです。そのため、子どもに対する専門的な知識は持ち合わせていません。当然のことながら仙台市でも、その点を理解して乳児健診は小児科専門医にだけに許されているのです。最

近はワクチンをどの医療機関でも接種していますが、極めて希に重大な副反応が起きることがあります。その重大な副反応に対応できないところでも接種が行われているのです。ワクチンひとつとっても、そんな状況に対応できるのが小児科専門医なのです。

それでは、他に違いはあるのでしょうか。つい最近執筆した豊橋市の育児情報誌「ママゴン」の記事を引用します。

“小児科の役割は様々ですが、第一に“相談窓口”ということです。「目やにが出た」「耳を痛がる」「夜泣きがひどい」など、何科にかかったらよいのか迷います。そんな時や専門の病院を紹介してもらいたい時などの相談で受診してもかまいません。小児科医でできることは完結し、他科医師の対応が必要な時には紹介する。つまり“子どもの病気の総合窓口”なのです。子育て中に心配なことは病気だけとは限りません。育児や栄養・しつけなど、心配なこと不安なことなど、どんなことでも気軽に相談してもいいのです。


親の心配や不安などの精神的状態は、病気の子どもに対して様々な影響を与えます。小児科医は「お母さんの不安・心配の解消」をモットーに親御さんの心配にまで気を配り、子どもに悪影響を与える不安を取り除くのも役割です。親御さんが安心することにより、余裕をもって子どもを観察し、適切な対応ができるようにすることも小児科医の使命と考えています。”

小児科医は、何よりも子どもを中心に考え、そして母親の思いなどの背景に気を配りながら診療に当たっているのです。ひとつ例を挙げて説明しましょう。診療所によっては、受診すると必ず検査をするところがあります。親御さんは検査をしてもらって安心ということがあるかもしれませんが、そのとき、検査の必要性と苦痛を秤にかけて判断し、必要ない苦痛を子どもに与えたくない考えるのが小児科医なのです。以前インフルエンザの記事でも書きましたが、保育園などから“検査してもらってください”ほど、腹が立つことはありません。何故保育園の都合で、子どもが痛い思いをしなければならないのかと思ってしまいます。

もうひとつ重要なことは、小児科医は表にでないところでも子どもたちのために活動しているのです。

裏面につづく





5月のお知らせ

- **医学部学生実習**
29日(金)
ご協力をよろしくお願いします。
- **栄養育児相談**
13、27日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料

『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

例えば1歳6ヶ月などの幼児健診、ワクチン接種費用助成活動、健康教育などの学校医活動、「ママゴン」などの情報発信、仙台市の虐待防止委員会、教育委員会の就学指導委員会など、診療の場を離れて子どもたちのために様々なことに取り組んでいるのです。2年前になります、仙台市では水痘・おたふくワクチン接種費用の助成が始まりました。この助成を勝ち取ったのも、小児科のグループである仙台小児科医会なのです。こうして、見えるところ見えないところで、皆さんは小児科医の恩恵を受けているのです。



同じような考えで診療の場面で実践していることがあります。クリニックでは、小学生になると自分の症状は自分で説明するようにしています。その理由は、入学以前は子どもは一人になることはありません。しかし、小学校からは登下校時に一人になってしまうことがあります。一人になったとき、困ったこと伝えたいことを誰かに伝える練習であり、自立心を養うことが目的です。子どもに説明させれば時間がかかってしましますが、時間より自立心を養うことが重要と考えて子どもが説明できるまでじっと待っています。そして最後に、「これも家庭でできない躰けのひとつ」と笑いながら話し、理解をしてもらっているのです。なかなかこのような機会がないのが、いまの世の中です。



子どもの病気だけでなく、健康、保護者の想い、子どもたちの将来まで考慮しながら対応しているのが小児科医なのです。ですからクリニックでは、CLINIC NEWS、患者さん専用メールアドレス、F.B. ページなど様々な活動を展開しているのも小児科医としての使命と考えています。現在小児科医のなり手が少なくなってきました。是非皆さんも小児科専門医というものを理解して、応援をよろしくお願いします。

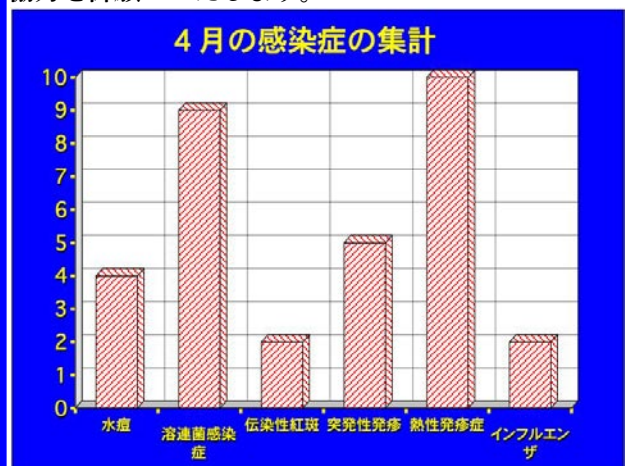
読者の広場

先月は7通のメールをもらいました。一面記事が長くなってしまったのと医療相談が多くプライバシーにかかわるものが多かったので、ひとつだけ利府町の丹野さんからのメールを紹介します。「ご無沙汰しております。樹己、寿己の母です。この春、樹己も中学生になり毎日ブカブカの制服に身を包みあの小さい体で重い鞆を持ち通学しています。寿己は四年生になりました。二人ともかなり健康体になり、先生にお会いする機会が減りつつあり親的には寂しく思うところです。今日、突然のメールをしたのは寿己の歯について相談できればと思います。今まで虫歯もなく検診とフッ素で歯医者に通うくらいでした。幼稚園の時に上の前歯をぶつけ、神経が死んだらしく歯の色も茶色でした…。樹己君の入学おめでとう！！そして写真ありがとう。いつの間にか子どもは大きくなって、クリニックにかかることが少なくなるのは仕方ないことです。「親的には寂しい」という言葉、うれしい限りです。歯の問題に関しては、専門家に相談して回答を待っているところです。もう少し、待っていてください。



臨時休診のお知らせ

指定都市学校保健大会（名古屋）のため
5月16日（土） 休診となります。
 皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を御願いたします。



りんご病（伝染性紅斑）はかなり少なくなりました。溶連菌感染症が目立つ以外に、特に流行している病気はありません。インフルエンザをグラフに示しましたが、後半はほとんどゼロで、流行は終息しました。グラフに示していませんが、近隣の小学校で感染性胃腸炎の集団発生がありました。クリニックの迅速検査では6名中1名からノロウイルスが検出されましたが、東北大学の検査で5名がノロウイルスでした。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、500人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として Twitter、Blog「子どもクリニック四方山話」、Facebook ページ、YouTube にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください！

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合せ下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

編集後記

院長は相変わらず、忙しい日々を過ごしています。先月は診療以外にトータルで25イベントという、またまた新記録を樹立しました。そして土日は全て埋まり、北部と在宅休日当番2週連続というおまけ付でした。出張も多いのですが、空いた時間に少しは羽根をのぼすこともできています。今月来月と休診があります。皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、よろしくご理解とご協力をお願いします。



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！